

つがゆき隣保館だより

令和6年
3月号

都賀行隣保館

TEL (82) 2679

フチっと人権 『口八分目に悔いはなし』

神楽面づくり教室など隣保館人権啓発講座の始まりの前に過去の「フチっと人権講座」を読みながらミニ人権講座として色々話をさせてもらっています。

先日もある教室の開始前には『腹八分目には医者いらず』と題して書かせていただいた文章 隣保館だより2月号掲載を読ませてもらいました。

読み終わってから 受講生の方から「腹八分目も大事だが口八分目も大事だわね」との声がありがたかったです。他の受講生の皆さんもその声にならずかかれていました。

皆さんも話をしている時 つい余計な一言を言ってしまった後悔されたご経験がありがたかと思えます。その一言で相手を不快にさせ 傷つけてしまったのではないかと悔やんでも「後の祭り」です。その一言が本意でなければ 余計に後悔します。

最近ではメール ライン等の普及で 言葉だけではなく 文字による「余計な一言」が増えていっているように思えます。

先日 東日本大震災で息子さんをなくし 今は災害の語り部をされている方がテレビに映っていました。その方は地震発生時に家にいる息子さんに「大丈夫」と安否確認メールを送信されたようです。ただ このメールの最後に「おつかあも今から帰ると一文追加されたようです。お母さんはこの一文が 息子に自分を家で待たせることになり 息子さんの避難を遅らせ津波に襲われた原因ではないかと十三年経過した現在も悔やみ苦しんでいるお母さんの姿が映し出されていました。

私たちは多かれ少なかれ「余計な一言」を言いがちです。その一言がそれまでの人間関係を壊し 一時的にせよ関係を切断することがあります。

話をする時 少しでも相手のことを意識して 思いやることができれば とういうことは防げるかもしれません。それは気持ちの良い人間関係につながるのではないのでしょうか。メール ライン等を使用する機会が多くなっている昨今 相手に対する配慮が特に大事ではないでしょうか。

（追記）

今月のタイトルを『腹八分目に医者いらず』をもじって『口八分目に〇〇いらず』としたのですが 中々〇〇にあてはまる適当な言葉が思い浮かびませんでした。〇〇にあてはまる言葉はないのでしょうか。何か思いつかれた方は隣保館までご連絡ください。

《 相談事業 》

自分のこと、家族のこと、ご近所のことなど、悩みごとはありませんか。「人には言えない」でも誰かに聞いてほしい!!「どこへ相談すればいいの?」と思われるなら隣保館へご相談ください。不安に寄り添い、問題解決のためのお手伝いをします。他の機関とも連携していますので、安心してお越しください。訪問相談や電話での相談も受け付けております。



令和5年度

『人権啓発講座閉講式・記念コンサート』

歌手の山本陽子さん 光星壮馬さんをお招きし「歌とともに優しく人権を考えよう」をテーマとして 歌とトークを交えたコンサートを開催します。たくさんの方に美しい歌声を聴いていただきたいので 受講されていない方もお誘い合わせの上 ぜひご参加ください。

日時 三月二十三日(土) 十時～十二時



令和6年度 人権啓発講座の受講生募集について

3月号の広報にて申し込み用紙をお配りしています。興味がある方や挑戦してみたい方など、どなたでもお気軽にご参加ください。締め切りは、**四月十二日(金)**です。内容や申し込みについてわからないことなどありましたら隣保館へご連絡ください。年に数回ある人権講演会や学習会は、参加していただくことが必須となります。人権について考える機会にしていただければと思います。

予告

〔令和6年度 人権啓発講座開講式〕

日時 四月二十四日(水) 十時～十一時半

講師 梅原信子さん(上川戸)

絵本の読み聞かせを通して人権についてお話いただきます。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

＜ 4月の予定 ＞

- 4日(木) 神楽面作り教室
- 11日(木) ニコニコ健康教室
俳句教室
喜楽会
- 17日(水) フラワーアレンジメント教室
- 20日(土) 習字教室
- 24日(水) 令和6年度
人権啓発講座開講式 10時～
(講師：梅原信子さん)
- 25日(木) ニコニコ健康教室

↓コサージュ完成!! 記念撮影↓



感謝の気持ちを込めて：コサージュ作り 三月五日 地域の方と大和小5年生が、卒業する6年生に贈るコサージュを作りました。地域の方に優しく見守っていただきながら、素敵なコサージュが完成しました。その後は「権利の熱気球」という人権学習ゲームで話し合いをしたり、腕相撲をして盛り上がりたりと楽しい時間を過ごしました。6年生の卒業を祝うみんなの想いが届くことを願っています。

『昔の道具体験学習』 二月二十八日

大和小3年生が地域の方から昔の道具について学びました。かまどに火をつけるためのマッチを擦ったり 縄を捻る体験をしたり 実際に触れて体験しました。「縄を作るのが難しかったけど楽しかった」「昔の人は色々な工夫をしていたすごいと思った」という感想が多くみられました。地域の方のお話の中で 学校で学ぶ知識も大事だけれど生活に生かせる 知恵を身につけることも大事だということをお話いただきました。

